土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川 賀茂川水系 田万里川支川 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.3	**調査位置**	広島県東竹原市田万里町地内			**北緯**	34° 24′ 36.3724″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2021年 4月 8日 ～ 2021年 4月 13日	**東経**	132° 50′ 40.0745″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 149.40m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 38°
総削孔長	10.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦D1-B		
				エンジン	ヤンマーNFD12	**ポンプ**	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1				礫混じり砂		暗褐	rd1～rd2		新生代第四紀	崖錐堆積物。細粒砂を主体とし、全体的に少量の粘土分を含み、所々にφ2～5mm程度の礫を混入する。	04/12 0.98		4	1.15	1	2/130	1/80	4/310						
2	146.70	2.70											6	1.45	2	2	2	6/300								
3				花崗岩強風化土		褐灰			中生代白亜紀	粗粒花崗岩の強風化土（砂質土）。様状コア。全体的に軽い指圧で崩せるが、部分的に強い指圧を要する。崩したコアはマサ状になる。岩芯まで風化が進んでいるものの、明瞭な岩組織を残す。GL-4.45～4.70m、4.80～4.90mにはコアストーンが認められ、ハンマー強打によって割れ目沿いに割れる（CL級相当）。【DI級】			30	2.45	9	10	11	30/300						
4													21	3.45	2/130	5/70	14	21/300								
5													22	4.45	7	7	8	22/300								
6													23	5.45	7	8	8	23/300								
7	142.40	7.00		強風化花崗岩						粗粒花崗岩の強風化部（軟岩1）。土砂状～岩片状コア。ハンマー軽打によって割れる。【DII級】	04/13 7.92		150	6.45	50			50/100	100							
8	142.15	7.25		強風化花崗岩		灰褐～淡灰褐				粗粒花崗岩の強風化部（軟岩1）。コア長10cm以下の短柱状～コア長10～25cmの長柱状コア。潜在割れ目が多い。GL-7.25～9.45mまで、コア肌は滑らかでハンマー強打で割れ目に沿って割れる。ハンマー打診で澄んだ音を発する。9.45m以深は破砕帯であり、割れ目が多く、コア肌がざらざらしている。ハンマー軽打で割れる。【CL級】				7.05													
9														7.15												1/8
10	139.40	10.00												8.00	貫入不能			50/0								
11														8.00												
														9.00	貫入不能			50/0								
														9.00												4/12
														10.00	貫入不能			50/0								
														10.00												